

イノシシ捕獲に係る取組状況について（速報）

1 野生イノシシの捕獲頭数（速報）の推移（表 1、資料 2-1）

2022年度12月末時点の野生イノシシの捕獲頭数は、豊橋市113頭（前年度同時期：64頭）、田原市146頭（同：94頭）となっている。

年間の捕獲頭数が直近5年間で最も少なかった前年度と比べ、両市とも増加している。

また、県が田原市内で実施している指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数は、47頭（同：35頭）となっている。

地区ごとの捕獲頭数について、豊橋市では全域、田原市の大山山塊や宇津江で2021年度と比較して、捕獲頭数が増加しているが、赤羽根や田原東部では捕獲頭数が減少している。

表 1 野生イノシシの捕獲頭数の経年推移（狩猟による捕獲を除く）（頭）

市／年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022*
豊橋市	210	251	220	160	111	113
田原市	275	271	492	270(66)	122(35)	146(47)
計	485	522	712	430(66)	233(35)	259(47)

（ ）書きは、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数で内数

※12月末時点の速報値

2 捕獲イノシシの年齢査定の結果（資料 2-2）

捕獲された野生イノシシの歯列による年齢査定の結果、成獣の割合は12月末時点で、約3～5割程度で、昨年度の同時期と概ね同じ割合となっている。

3 その他

県内の野生イノシシの豚熱陽性個体の確認状況について、2022年度は12月末時点で、17件と、2021年度の7件と比べ、増加している。

県内の地域ごとの捕獲頭数について、ほとんどの地域が2021年度と比べ増加しているが、豚熱の陽性個体が確認されている西三河地域の一部の市町村については、2021年度と比べ、捕獲頭数減少傾向が見られる。